みんなで快適なまちに

地域を支える町内会活動

自分のまちのことを思い浮かべてみてください・・・・・。

A
- ごみステーションがきれい
- 歩いていても安心
- 災害への備えが万全
- 街並みが美しい

B
- ごみステーションが汚い
- 歩いていると物騒
- 災害が起きたらと不安
- 街並みが荒れている

誰もが、自分のまちを A のようにしたいと思うでしょう。住みよい“快適な”まちにするためには、その地域に住んでいる人全員で力を合わせる必要があります。その中心的な役割を果たしているのが、皆さんのまちにある「町内会」です。
「町内会」がどんな活動をしているのか見ていきましょう。

ごみステーションの管理

カラスによるごみの散乱、不法投棄、ごみステーションの設置場所の確保など、どこの地域でも深刻なのがごみ問題。収集日や分別の仕方を守るといった住民一人一人のマナーが大切です。

活動事例
- ◆保護ネットによるカラス対策
- ◆ごみステーションの清掃
- ◆集団資源回収
- ◆ごみ出しマナー向上の取り組み

福住みどり町内会の場合

この町内会では、ごみステーションの管理を当番制で行っています。二世帯一組になって一週間ごとに、ネットの折りたたみ、ごみ拾いなど、ごみステーションを見守ります。

この取り組みは平成十年に開始。立ち上げには、住民へのアンケートの実施、制度の趣旨説明など二年かかりました。そのかいあって、カラスもごみ減り、ステーションは清潔です。

ごみステーションごとの管理者の配置、清掃用具の置き場所の確保、当番表の掲示など、制度の運用も工夫しています。

住民一人一人の意識を高め、コミュニケーションを図りながら、明るくきれいなまちを目指します。

地域の安全確保（防犯）

空き巣、車上荒らし、誘拐など、地域にはさまざまな危険が潜んでいます。地域が連携して、近所での声掛け、落書きや捨てられたごみの除去に取り組むことは、犯罪防止につながります。

活動事例
- ◆パトロール
- ◆子どもの見守り
- ◆関係機関との連絡体制の整備
- ◆防犯意識向上の取り組み

西岡二区北斗町内会の場合

この町内会では、西岡交番の協力を得て、定期的な夜間パトロールを実施しています。町内を四つの区域に分け、それぞれ八人程度で月三回行います。

今年六月に始めたこの取り組みは、防犯だけでなく、住民の連帯感を醸成することも狙っています。区域間の交流で、さらに地域の輪が広がります。また、パトロール時に公共物の破損を見つけたり、ごみを拾ったりと波及効果も。

腕章は区役所から貸与を受け、パトロールにはミニパトカーが同行するなど、行政との連携も図っています。

この活動自体を近所の触れ合いの場とし、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちを目指します。